

より魅力ある教育環境を目指して

家庭教育学級

保護者が学習する場づくり

市内の各小学校に開設している家庭教育学級は、保護者が子育てや家庭のことを学ぶ場です。学年の枠を超えて保護者同士が交流したり、話し合ったりします。

学校ごとに年間学習テーマを決め、1年を通して学習会を実施します。平成25年度は、全44小学校で延べ9,000人以上の保護者が、426の学習会に参加しました。

馬橋北小学校家庭教育学級（愛称・ましゅまろくらぶ）は、親子の交流も深めたいという保護者の要望に応じて、8月に夏休み親子クッキングを開催しました。



夏休み親子クッキングでは、実際に料理を作った他、食育についての講義も行われました。

参加者の1人は「ましゅまろくらぶで知り合えた人がたくさんいます。普段は話す機会が少ない別の学年の保護者と話すこともできます。何より、参加すると楽しいです」と笑顔で話してくれました。

動きに出る人が増え、全学習会に参加できない人もいます。ましゅまろくらぶ運営委員の高岸美詠子さんは「1年に1回だけでも、気にせず参加してほしいと声を掛けています」と、できるだけ多くの方が参加しやすい運営を心掛けています。

参加方法等の詳細は、生涯学習推進課または各学校の教頭先生へお問い合せください。

幼児家庭教育学級・中学校家庭教育学級も行っています。

各家庭教育学級の学習内容は、生涯学習情報提供システム「まつどまなびいネット（<http://www.matsudo-s-edu.jp/>）」をご覧ください。

☎生涯学習推進課 ☎367-7810

松戸市PTA連絡協議会・奈賀綾子会長に聞く

■地域で子ども育てる意識を

— PTAはどのような組織でしょうか。

「一言で言えば、子どものために学校・保護者・地域をつなぐ組織です。学校の意向に沿いながら、保護者の要望を発信し、一緒になって学校を良くしていくことが役割です」

— 市内のPTA組織の現状は。

「市内公立小・中学校64校のうち47校にPTAがあり、連絡協議会に加入しています。任意団体のためPTAがない学校もありますが、学びの場をつくるなど、より魅力あるPTAの姿を発信していければと考えています」



■他団体との連携深めて情報共有

— 連絡協議会の活動の柱は。

「加入校が集まり、年6回の常任評議委員会を開いています。ここで各校の情報を共有し、学校間のつながりを強めている他、町会等さまざまな団体との関わりを深めて連携をとる体制を整えています。協力していただける団体が増えれば、問題の解決策も見だしやすくなります」

— 子どもの成長環境は。

「少子化が進む現在、学校だけ、家庭だけで子どもを育てる時代ではなくなっています。今は地域全体で子どもたちを育てることが大切。地域の中の学校、家庭であるべきだと思います」

■助け合い頑張る姿、子どもにも

— 保護者の参加意識は。

「皆さん忙しく、敬遠されがちなのですが、やってみると自分の知らない自分が見えてくることもあります。私にはできないと断る人もいますが、助け合いながら一生懸命頑張るという姿勢は、子どもにとっても大切ではないでしょうか」